

3km 圏内を想定した自動運転 EV モビリティの研究

Autonomous EV Mobility Research for Local Area

ギ キョウヨウ



短距離移動を支えるユニバーサルモビリティ

本研究では実測距離で 3km という範囲を想定している。モデル地区とした「諏訪・永山団地」は丘陵地帯であり、直線距離と実測距離では異なることが多いためである。また坂道が多く、高齢化した住民には短距離でも移動が困難になることに着目して、この研究テーマを選挙した。

Universal mobility for short distance movement

I set the unit of de facto measurement in my research to 3 kilometers. The reason is that the Suwa-Nagayama housing estate, which I used as a model area, has hilly terrain, so the straight line distance and the de facto distance are often different. Due to many slopes while moving around, even short distances can be very difficult for aging residents. My work deliberates on a solution to this problem.

1

対象地域
駅の東側から 3km 以内を離れる「諏訪・永山団地」

現地調査ポイント

歩車分離 階段や坂 近隣センターの衰退

豊かな緑・公園で生き生きとしている風景

スロープについて
階段に代わる傾斜路が多く、1/8のスロープが主要

勾配 1/10 勾配 1/4 勾配 1/8

ルート
左循環 永53ミニバス + 待ち時間 50分ぐらい

京王永山駅 徒歩 2.8km 40分ぐらい 永山団地六丁目

2

余裕があって使いやすい ちょうどいい程度

介護の方+車椅子の方二人 大人二人+子供二人四人家族 夫婦と歳/子供成長した四人家族

3

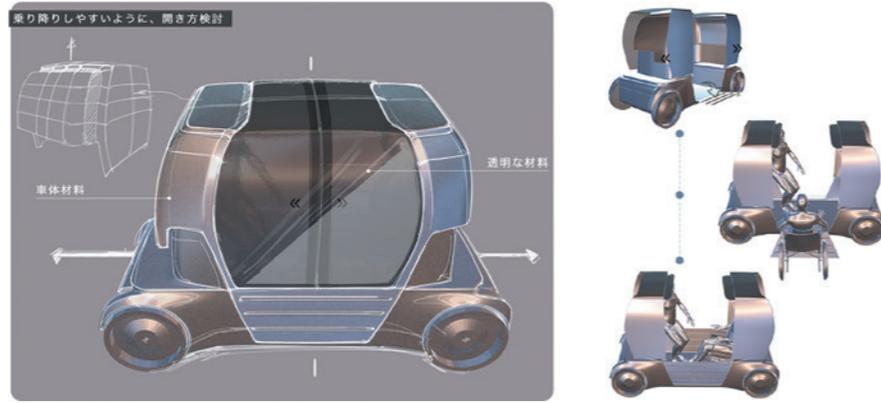
・地域特徴の一つとして、各種公園や緑地がたくさん整備されている
・各丁目毎に少なくとも一つのスポットを確保

点在している緑地や公園の出入りに設置
駅、商店街など日常集会施設にも設置

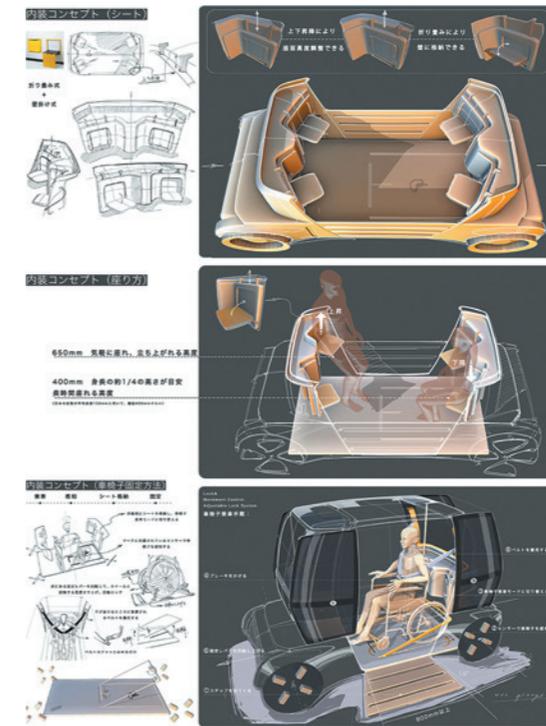
【永山五丁目一駅】
自宅
永山五丁目公園ステーションで乗車/予約による乗車専用ステーションで乗車

①永山五丁目バス停には永14を乗り継ぎ
②連続駅まで連れていく
ルート② 10時~24時 4分程度
所要時間15分ぐらい 永山駅

エクステリアデザイン
 荷物スペースについては、前後に二つ付いている。また、扉は前後方向でスライドして開くため、開いたまま走ることも可能。急雨や寒い日などには閉めて走ることもできる。



エクステリアのサイズ
 サイズについては、コックピットのパーツは約 L:1900mm×W:1180mm になった。前後の広い荷物スペースを加えると、全長は2850mm ほどコントロールできる。



- 1 車内には、折り畳み式と壁掛け式を組み合わせた四つのシートを設置した。上下昇降によって座面高度を調整できる。また、回転して格納できる。
- 2 短時間の乗車における立ちやすさも考慮した上で、座面の高度は「長時間座れる高度」と「膝を少し屈めて座り、気軽に立ち上げられる高度」の間に調整できる想定とした。
- 3 車椅子の乗車プロセスについては、主に「乗車」、「感知」、「シート格納」、「固定」といった考えを中心にデザインした。